

平成29年度エスポール・セルプ事業計画

セルプは「自助・自立」の精神で働く権利を保障するため労働の提供をはじめ、働く喜びや生きがいを感じ、豊かな地域生活が安定・継続して送れる「就労継続支援（非雇用型）事業」とする。定員35名〔主20名、従15名〕登録利用者の工賃アップを目指し、実習体験等の機会を提供し働くことが楽しく、充実感が得られる環境づくりと“働く意識”を高める目的の「就労継続支援事業（非雇用型）」とする。

事業運営基盤の充実を図るため次のことを基本方針に取り組んでいく。

- (1) 「指定障害者支援事業所の人員、設備及び運営に関する基準」及び「就労継続支援運営規程」に基づく適正な運営。
- (2) 利用者の人権を尊重した利用者主体のサービスを提供し、職員行動規範を守り、専門性を高め様々なニーズに対応できるよう質の向上を目指す。
- (3) 地域との連携・交流を図りながら、地域の発展に貢献していく。

就 労 継 続 支 援 事 業（非雇用型）

1. 支援の目的

- ・ 就労継続支援の個別支援計画に関するトータル的な支援。
- ・ 自立した日常生活や社会生活が営むことができるよう、生産活動・その他の活動の機会・就労に向けた機会等を通じ知識及び能力向上のために必要な訓練その他の必要な支援。
- ・ 利用者の人権を尊重した利用者主体活動の推進。
- ・ 主の事業所は岡山市北区福谷に置き、従の事業所は北ふれあいセンター内に置く。

2. 職員

- ・ 職員の配置は、運営規程による基準を遵守し、管理者を中心にサービス管理責任者、生活支援員、職業指導員、目標工賃達成指導員が力を合わせて、総合的にかつ適切に利用者の支援・指導に当たる。
- ・ 主・従のそれぞれの事業所に常勤の生活支援員・職業指導員を置く。生活支援員、職業指導員、目標工賃達成指導員の総数は常勤換算方法で前年度の平均実利用者数を6で除して得た数以上の職員配置とする。

3. 作業支援

作業種目

- ・ 主の事業所…点字ブロック作業、ボカシ肥料作成作業、農作業その他作業等を行う。
- ・ 従の事業所…箱折り、箸の差し込み、パンフレット封入、さをり織り、点字ブロック作業に付随する作業等多種多様な作業に取り組む。また新規作業開拓等にも取り組む。
- ・ “働く意識”を明確にし、作業支援の提供とそれに対する対価として月平均1万円以上を目標に工賃を支払う。又、「工賃向上計画」に基づく「工賃引き上げ計画」を立案し、計画に掲げた工賃目標の達成に向けて作業活動収入の向上に積極的に取り組む。
- ・ 目標工賃達成指導員を1名以上置く。
- ・ 従の事業所においては北ふれあいセンターの行事に参加し製品販売をする。
- ・ 時間外就労支援
希望者には就労に向けて意欲・体力等を高めるため通常作業時間を延長して行う。
- ・ 施設外支援
支援を通じて就労に向けた意欲・技能・知識が高まった方には、適正に合わせた個別支援計画を作成し職場実習・求職活動・トライアル雇用などの施設外サービスを支援する。

- ・ 取り組みにあたっては障害者就業・生活支援センターやハローワークなど当事業所以外のスタッフとも連携した支援を行う。
- ・ 施設外就労支援
企業内などで就労支援を行った場合には1ユニット3人以上職員1の配置で支援する。施設内の利用者の職員配置は基準を満たす。利用日数は180日を限度とする。

4. 生活支援

- ・ 自立訓練支援（地域生活の自立に向けての訓練）
- ・ 日常訓練支援（ADLの向上に向けての訓練）
- ・ 豊かな社会生活の場として文化活動・余暇活動・行事等を支援
- ・ 利用者主体の自治会・クラブ活動の支援
- ・ 家庭と連携し定期的な健康診断、服薬支援、健康や衛生面について日常の見守り支援。嘱託医と連携し、その看護職員が訪問し利用者に看護を行い支援する。
- ・ 風邪やインフルエンザ・感染性胃腸炎等の感染予防に努める。
- ・ 昼食の提供支援を行い、希望者に厨房で調理した昼食を有償提供。献立表は毎月配布。
- ・ 家庭訪問支援は心身の状況の変化により、5日以上連続して欠席の利用者には、同意のもと自宅訪問を行い、継続利用のための支援や個別支援計画の見直しを行う。
- ・ 欠席時対応支援は利用予定していた日（2日前）に、急に利用を中止した場合に家族等と連絡を行い相談援助支援する。
- ・ 相談・援助支援は利用者・家族への、地域で活用できる社会資源等の相談・援助、情報提供等を行う。
- ・ 行事・余暇など随時施設外での活動支援を行う。
- ・ 利用者が他事業（短期入所・居宅介護など）利用する場合は、その事業所と連携して支援を行う。相談支援事業所との連携
- ・ 利用者が成年後見制度を活用することができるように支援を行う。
- ・ 随時社会経験活動として施設外支援等、外出の機会を多く設ける。

5. 地域交流

- ・ 地域の民生委員等ボランティアによるふれあいクラブ（月1回）
- ・ お散歩会等地域との交流を図るため、地域の行事やイベント、文化活動等に積極的に参加し、地域文化を体験する機会を増やし社会的見聞を深める。
- ・ 地域相談の取り組み
- ・ 実習生・ボランティア・見学の受入
 - ・ 地域小・中学校のボランティア体験
 - ・ 明誠学院高校のボランティア実習
 - ・ 特別支援学校の職場体験実習
 - ・ 教員免許特例法による介護等体験実習
 - ・ 介護福祉士の実習
 - ・ 見学、ボランティアの随時受入
 - ・ 保育実習の方の体験

6. 送迎支援

- ・ 希望者は岡山駅西口、大元駅、津山線金川駅等サービスエリア内において利用者の便宜に配慮した送迎サービスを行なう。
- ・ 車両整備と安全運転に努める。

7. 防災計画

- ・ 消防計画に基づき、防災訓練、防災教育を定期的実施し意識の向上に努める。又、ひやり・はっと事故報告を徹底し、要因を分析・把握・防止策を共有化する。リスクマネジメントに努める。緊急時、事故発生時等における対処法を策定する。
- ・ 従の事業所は、北ふれあいセンターの消防計画により実施する。

8. 職員会議・職員研修

- ・ 職員会議・施設内外研修等随時行う。
- ・ より良い支援が提供できるよう、個別研修計画・経験年数に応じた OJT,OFFJT の実施を通じて、切磋琢磨・自己研さし、専門職員としての知識・技術の習得に努め職員の質の向上を図る。
- ・ 専門職としての資格の取得をすべく各種研修へ積極的に参加する。
- ・ 人権尊重・虐待防止等の研修を随時行い、意識を高める。
- ・ 研修で習得した知識は情報開示し、現場に活用して職員のレベルアップに繋げる。

9. リスクマネジメント

- ・ 苦情解決対応・体制は「苦情解決事業規程」による。
- ・ 家族会家族会と協力連携し、よりよい事業所になるよう努める。
- ・ 個人情報プライバシーの保護・守秘義務。
- ・ 人権尊重・虐待防止職員の行動基準を基に利用者主体の人権を尊重する。人権尊重・虐待防止のチェックリストを定期的に行う。
- ・ 身体拘束の禁止
- ・ 成年後見制度の活用支援
- ・ 利用者・及び家族からのサービス評価を行う
- ・ 協力医療機関（嘱託医）
 - ・ 医療法人 おおぞら会 同仁病院 院長 遠迫 克英
岡山市北区下伊福上町 1 5 - 7 0 8 6 - 5 2 5 - 2 6 6 1

10. 開所日について

- ・ 開所日については、利用日数特例届出に基づき開所する。
- ・ 但し、現場実習・求職活動・トライアル雇用などの就労に係る施設外サービスの支援の場合は 20 日/月とする。

11. その他

- ・ 運営規程及び重要事項説明書記載の支援

12. 年間行事予定

- 4 月 入所式
- 5 月 障害者スポーツ大会・お散歩会（地域交流）
- 6 月 運動会
- 7 月 総合健康診断
- 8 月 消火訓練
- 9 月 学区運動会
- 10 月 社会見学
- 11 月 地域交流事業
- 12 月 クリスマス会・忘年会
- 1 月 新年会・成人式
- 2 月 内科検診
- 3 月 地域交流ふれあいクラブ・合同防災訓練

平成29年度セルフ拠点区分 予算書

社会福祉法人 自然の森
セルフ拠点区分

(収入の部)

(単位:千円)

科 目		本年度予算額	昨年度予算額	比較増減	説 明
大区分	中区分・小区分	A	B	A-B	
255	就労支援事業収入	12,000	11,870	130	
	01 就労支援事業収入	12,000	11,870	130	
256	障害福祉サービス事 等収入	67,300	63,530	3,770	
	01 自立支援給付費収入	63,800	60,000	3,800	
	03 訓練等給付費収入	63,800	60,000	3,800	
	03 利用者負担金収入	1,700	1,730	△30	
	02 給食費収入	1,700	1,700	0	
	01 一割負担収入	0	20	△20	
	03 行事収入	0	10	△10	
	06 その他事業収入	1,800	1,800	0	
	01 補助金地業種収入	500	500	0	
	03 その他事業収入	1,300	1,300	0	
262	経常経費寄付金収入	1,500	1,100	400	
263	受取利息配当金収入	10	10	0	
264	その他収入	2,550	2,570	△20	
	01 受け入れ研修費収入	20	10	10	
	02 利用者等外給食費収入	2,500	2,500	0	
	03 雑収入	30	60	△30	
	05 行事	0	30	△30	
	07 その他	30	30	0	
	事業活動収入計(1)	83,360	79,080	4,280	
271	施設設備等補助金収入	0	630	△630	
	01 施設設備等補助金収入	0	630	△630	
	施設整備等収入計(4)	0	630	△630	
285	積立資産取崩収入	0	70	△70	
	01 退職給付引当資産取崩	0	70	△70	
	01 退職給付引当資産取崩 収入	0	70	△70	
	その他活動収入計(7)	0	70	△70	
	資金当期収入計	83,360	79,780	3,580	
	資金収入合計	83,360	79,780	3,580	

平成29年度セルフ拠点区分 予算書

社会福祉法人 自然の森
セルフ拠点区分

(支出の部)

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	昨年度予算額	比較増減	説 明
大区分	A	B	A-B	
201人件費支出	49,500	47,600	1,900	
02職員給料支出	29,000	28,200	800	
01給与支出	25,500	25,000	500	
02諸手当支出	3,500	3,200	300	
03職員賞与手当	7,000	6,600	400	
05非常勤職員手当	6,500	6,300	200	
07退職給付支出	500	500	0	
01退職給付支出	500	500	0	
08法定福利費支出	6,500	6,000	500	
202事業費支出	6,260	6,230	30	
01給食費支出	3,320	3,320	0	
03医療費支出	10	10	0	
05保健衛生費支出	260	260	0	
01健康診断費支出	260	260	0	
08教養娯楽費支出	300	300	0	
09日用品費支出	50	50	0	
12水道光熱費	1,200	1,200	0	
01電気	800	800	0	
02ガス	200	200	0	
03水道	200	200	0	
13燃料費支出	10	10	0	
14消耗器具備品費支出	50	20	30	
01消耗品費	30	10	20	
02器具什器費	20	10	10	
15保険料支出	10	10	0	
20車両費支出	1,000	1,000	0	
23雑支出	50	50	0	
203事務費支出	9,500	9,550	△50	
01福利厚生費支出	350	350	0	
04研修研究費支出	450	450	0	
05事務消耗品費支出	350	350	0	
01消耗品費	250	250	0	
02器具什器費	100	100	0	
06印刷製本費支出	300	300	0	
07水道光熱費	300	300	0	
09修繕費支出	500	500	0	
10通信運搬費支出	540	540	0	
01電話	500	500	0	
02郵便	40	40	0	
11会議費支出	10	10	0	
12広報費支出	40	40	0	
13業務委託費支出	3,250	3,250	0	
01給食費	2,700	2,700	0	
02清掃	160	160	0	
03嘱託医	40	40	0	
05会計顧問料	350	350	0	
14手数料支出	40	40	0	
01振込手数料	30	30	0	
02その他手数料	10	10	0	
15保険料支出	450	450	0	
01任意	350	350	0	
02火災	100	100	0	
16賃借料支出	650	650	0	
18租税公課支出	1,100	1,050	50	
19保守料支出	620	720	△100	
03浄化槽	250	250	0	
04消防設備	60	60	0	
05電気保安	60	60	0	
06コンピューター保守	200	300	△100	
07印刷機	50	50	0	
21諸会費支出	350	350	0	
23雑支出	200	200	0	

平成29年度セルフ拠点区分 予算書

社会福祉法人 自然の森
セルフ拠点区分

(支出の部)

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	昨年度予算額	比較増減	説 明
大区分	A	B	A-B	
中区分・小区分				
204就労支援事業支出	12,000	11,000	1,000	
01就労支援販売支出	4,000	4,000	0	
01就労支援事業製造原価支出	4,000	4,000	0	
02就労支援販売支出	8,000	7,000	1,000	
208支払利息支出	200	200	0	
事業活動支出計(2)	77,460	74,580	2,880	
222固定資産取得支出	500	1,800	△1,300	
06車両運搬具取得支出	0	1,100	△1,100	
07器具及び備品取得支出	500	700	△200	
224ファイナンスリース 債務の返済支出	800	800	0	
施設設備等支出計(5)	1,300	2,600	△1,300	
234積立資産支出	600	5,600	△5,000	
01退職給付費引当資産支出	600	600	0	
01退職給付費引当資産支出	600	600	0	
11人件費積立資産支出	0	5,000	△5,000	
242拠点区分間繰入金支出	4,000	4,000	0	
その他の活動費支出計(8)	4,600	9,600	△5,000	
資金当期支出計	83,360	86,780	△3,420	
当期資金収支差額合計(11)=(3+6+9)-(10)	0	△7,000	7,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	△7,000	7,000	
資金支出合計	83,360	79,780	3,580	

平成28年度事業報告

エスポアール・セルプ

エスポアール・セルプは、就労継続支援B型事業所で、作業訓練活動を柱に社会自立に向けた就労・生活支援を行うとともに、利用者の人権を尊重した利用者主体のサービスを提供し、豊かな地域生活が安定・継続して送れるよう支援した。さらに、実習生、地域ボランティア等を積極的に受け入れ、職員は職員行動規範を守り、専門性を高め様々なニーズに対応できるよう質の向上を目指すよう努めた。また、法律変更に伴う家族への情報提供や説明会も定期的に行い、理解を深めていった。更に地域との交流も活発に行った。

1 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業（定員35名 主20名・従15名）は、年間実利用者数は8,163人と26年度に比べ49人減少した。年間稼働率は86.4%であった。長期欠席の利用者は1名いたが、訪問支援をすることで、継続して定期的な利用ができた。3月末にはA型事業所への就労が決まった利用者もあった。

1. 利用状況

開所日数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		23	21	24	22	22	23	22	23	22	21	22	24	269
契約者数	主	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	215
	従	15	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	185
平均実利用者数	主	17.1	16.9	17.1	17.2	17.0	16.5	16.4	15.2	15.5	15.6	15.5	16.0	16.3
	従	13.4	13.8	13.6	14.2	13.5	13.4	13.1	11.9	12.8	12.8	12.8	12.8	13.2
実利用者数	主	394	355	410	379	375	380	360	350	340	327	342	384	4,396
	従	308	290	330	312	298	308	289	273	282	269	282	308	3,549
	合計	702	645	740	691	673	688	649	623	622	596	624	692	7,945
稼働率(%)	主	85.7	84.5	85.4	86.1	85.2	82.6	81.8	76.1	77.3	77.9	77.7	80.0	81.7
	従	89.3	92.1	91.7	94.5	90.3	89.3	87.6	79.1	85.5	85.4	85.5	85.6	88.0
	平均	87.2	87.8	88.1	89.7	87.4	85.5	84.3	77.4	80.8	81.1	81.0	82.4	84.4

※ 年間延べ実利用者 27年度 8,163人→28年度 7,945人

※ 年金1級受給者 10人

2. 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分無し	合計
主	2	4	3	2	0	0	8	19
従	1	2	3	2	0	0	7	15
合計	3	6	6	4	0	0	15	34

3. 年齢構成（平均年齢30.6歳）

主（31.5歳）従（29.5歳）

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	合計
男	1	10	8	3	1	0	23
女	0	4	5	2	0	0	11
計	1	14	13	5	1	0	34

障害者手帳

療育手帳A 9名

精神保健福祉手帳 2名

療育手帳B 22名

身体障害者手帳 5名（重複者有）

平成29年3月31日現在

2. 職員体制

- ・ 職員配置は運営規程による基準を遵守した。
- ・ 管理者(兼)1名、サービス管理責任者1名、生活支援員3名(常勤主2名・常勤従1名)職業指導員(主2.5名以上・従2.2名以上)併せて常勤換算で7.0名以上、目標工賃達成指導員も含めては全体で常勤換算(4.8名)のところ8.0名以上と多くの人員配置とした。

3. 個別支援計画

- ・ サービス管理責任者は、アセスメント後個別支援計画を作成し、利用者家族の同意の下、支援を行なった。個別支援計画の目標やこれからの支援のあり方については、生活支援員・職業指導員と相談しながら利用者、家族と連絡・相談を密に取り、現状の分析とこれからの支援の内容や方向性についてはケース会議等で検討した。さらに、目標達成度のモニタリングを6ヶ月に一度9月・3月に行い、より目標に適したサービス提供ができるよう支援計画の見直し作成・説明を行なった。

4. 作業訓練支援

①作業種目(主 事業所)

- ・ 点字作業
今年度も委託作業が年間収益は昨年より減少した。硬化剤袋詰め、珪砂袋詰め、出荷用パレット作り、タイルの打ち込みとMMAボンド缶の箱詰め等の作業を行なった。納期を意識し集中力を高め、丁寧に正確に一定のスピードが求められ、よい作業訓練支援となった。又、安全を第一に行い、腰痛防止の対策としてコルセットの着用、事故防止のための安全靴、手袋、防塵メガネ、防塵マスク等保護具の着用を徹底した。
- ・ ボカシ作業
環境保全の一環として、家庭から出る生ゴミの減量化と、豊かな土壌作りを目的にボカシ製品の普及に努めた。製品はエスポール・セルプの自主製品として新しい販売先も開発したが、非常に少ない売上げであった。
- ・ 農耕作業
近隣の借地の畑で行った。点字委託作業の合間に定植、除草、などの作業を行ったが、収穫は少なかった。
- ・ 清掃作業
週3回施設内の清掃作業を実施した。グループ別に確認しあいながら自主的に行った。
- ・ 就労支援活動作業
就労への目的意識を高めるため、より社会に近い形で通常の作業時間を延長(16時~17時の1時間)し、4名が取り組み「報・連・相」も徹底した。
- ・ 施設外支援(職場体験実習)
3月末1週間就職を目標にした実習を行った。

②作業種目(従 事業所)

- ・ 箸入れ作業
ほぼ全利用者が関わり、1年を通じて安定した作業となり今年度の収益は倍増した。
- ・ 箱折り作業
半数の利用者が関わり、週1回の入出荷を定期的に行なった。時期により入出荷量が増減したが、作業が途切れることなく収益も安定していた。
- ・ さをり織り
他作業の納期の合間にさをり織りを行なった。ボランティアが不足し製品の仕上げが少なかったので常設で販売するだけでなく、他の手作り作品(ビーズ細工や髪飾り等)も工夫し、ふれあいセンター祭り等で販売し、売り上げが増加した。
- ・ パンフレット
各種パンフレットの封入作業や紙物の組み立て物、また100円均一商品の梱包やセットを行った。

・ その他

岡山県セルフセンターからのフラットファイルの組み立て、封筒の訂正シール貼り、岡山マラソンの記念品のセット、封入作業など等種々の作業を行った。
カレンダー・手延べ素麺等の販売を行い、包装・配達の作業を中心に活動した。販売は自法人内の利用者・家族だけでなく関係機関にも協力を呼びかけ、収益が少しアップした。配達時には、受け渡しの仕方や挨拶等のマナーも支援を行った。
点字ブロック作業の枠はりの工程も作業が繁忙であった為収入が増した。

③ 工賃

- ・ 作業支援の提供とそれに対する対価として工賃規程を作成し工賃を支払った。
- ・ 月額平均工賃 15,381円 で前年度より約 5,000円 減少した。

④ 求職活動

- ・ 就労・生活支援センターに 1名登録し就職面接会にも参加した結果、3月にA型事業所に就労が決定した。

5. その他

1. 生活支援

- ① 自立訓練支援希望者に地域生活の自立に向けて様々なテーマにより支援を月2回行った
- ② 日常訓練支援 ADL の向上に向けて整容・買い物等様々なテーマにより月2回行った。
- ③ 文化活動・余暇活動は土曜日や祝日の開所日の午後に実施し、豊かな生活の場となった。
- ④ 自治会活動として月1回2施設合同で利用者主体の場を提供した。
- ⑤ 健康管理では7月に淳風会による総合健康診断を行い家庭に報告した。11月には嘱託医によるインフルエンザの予防接種を希望者に行った。3月には嘱託医による定期的な内科検診を実施した。又、インフルエンザ対策として毎朝の検温、日々の手洗い・うがい・手指消毒、マスクを奨励し利用者の健康や衛生面について支援した。昼食時、投薬の必要な利用者には声掛け・見守り支援を行った。
- ⑥ 給食の献立表は毎月利用者の家庭に配布し掲示板で知らせると共に、1か月遅れではあるがホームページに写真入りを掲示した。また、日々の健康状態や希望に応じて、お粥など食べやすい食事となるよう工夫した。随時、給食会議を開催し全体の調整を図った。尚、委託給食は献立が豊富であること、利用者の嗜好にマッチしていること等から大変好評である。バイキング給食も6月に1回実施した。
従の事業所の給食は行事食以外、利用者の希望により弁当となった。
- ⑦ 心身の状況の変化により、5日以上連続して欠席した従の事業所1名は、度々の連絡等の支援により定期的な再利用につながった。

2. 相談・援助支援

- ① 利用者・家族から随時相談に応じ、サービス利用手続きや社会資源の情報提供等を行なった。
- ② 相談支援・法改正や成年後見制度などに対する相談が多くあり、個別に援助し支援した。
- ③ 地域相談にも応じ、地域に密着した事業を展開した。又、特別支援学校からの実習や見学等多数あり相談援助に努めた。

3. 地域交流

- ① 毎月1回地域のボランティアの方々に来ていただき、ふれあいクラブ（お茶、銭太鼓、文化等）を実施し地域交流を深めた。民生委員や愛育委員等地域ボランティアの方の協力体制が定着した。
従の事業所ではさをり織りの作品作りに協力するボランティアが少なくなった。
- ② お散歩会等地域の行事やイベント、文化活動等に積極的に参加し、地域文化を体験する機会を増やし社会的見聞を深めた。また、地区の運動会にも参加し交流を図った。

4. 送迎サービス

- ・ 岡山駅西口、瀬戸大橋線大元駅及び津山線金川駅からの送迎サービスを行った。送迎時においては常に車両を点検し、安全運転に努めた。結果、軽微な物損事故はあったが重大なトラブルなく運行できた。

5. その他

① 防災対策

- ・ 地震が起きた際の避難訓練を予告なしに行った。また、別途定めた防災および消防計画に基づいて災害に対する安全管理に努めた。さらに今年は、地域と連携し馬屋下消防団と合同で3月には合同避難訓練・消火訓練を実施し、地域防災も図り利用者と職員の安全防災意識の向上に努めた。
- ・ 従事業所では北ふれあいセンター内の防災計画に沿って、9月、3月に避難訓練等の防災訓練を行い、利用者の安全、防災意識の向上を図った。
- ・ 「ひやり・はっと」及び「事故」等の報告があった際には、その日の引継ぎや会議などで報告原因となる要因を分析し重大事故の防止に努めた。事故が発生した場合には速やかに必要な措置を講じた。

② 苦情処理

- ・ 普段より利用者及びその家族との連絡を密にし、情報のやりとりを積極的に進め利用者支援につながるよう心がけているが、苦情の受付窓口を設け「意見箱」を玄関に設置し、苦情受付を行っている。要望はあったが苦情はなかった。

③ 家族会

- ・ 家族会と連携をとり家族等の要望が生かせるよう努力した。

④ 個人情報

- ・ プライバシーの保護・守秘義務遵守の観点から知り得た情報が漏れないように職員への指導や書類の管理を行った。

⑤ 人権尊重・虐待防止について

- ・ 虐待防止法の研修を深め意識を高めた。また、「職員の行動基範」を基に毎朝職員で唱和し利用者主体の人権を尊重するよう意識高揚を図った。人権自己チェックリストを行い、自己研鑽し、職員会議で話し合った。

⑥ 医療機関への受診

- ・ 今年は、医療機関に受診した人はいなかった。

⑦ 研修

- ・ 施設内研修では今年度も人権擁護や虐待防止について、職員の意識向上や専門性を高めるため学習会をおこなった。
- ・ 施設外研修にも積極的に参加し、特に工賃向上・個別支援計画・就労支援等のための研修には多く参加した。

6. 開所日について

- ・ 開所日については、「利用日数に係る特例の適用を受ける日中活動サービス等に係る届出」を行い269日開所した。

7. 年間行事実施

- 4月 1日 入所式
- 4月 9日 花見
- 4月29日 歴史のお散歩会（地域交流事業）
- 5月10日 愛育委員との交流会
- 5月14日 ナイスハート
- 6月 3日 バイキング給食
- 7月20日 総合健康診断
- 8月1日、2日夏のボランティア体験 京山中学校1名（従の事業所）
- 8月10日 夏のボランティア体験 岡山大学附属中学校1名（従の事業所）
- 8月11日 明誠学院高校教員ボランティア
- 9月20日 馬屋下地区運動会（馬屋下小学校運動場）
- 10月 8日 運動会（馬屋下小学校体育館）
- 11月 4日 社会見学（兵庫県たつの市ヤマサ蒲鉾）
- 11月17日 インフルエンザ予防接種（囑託医師により）
- 11月27日 地域交流事業（チャリティバザー家族会と協賛）
- 12月23日 クリスマス会
- 12月28日 忘年会
- 1月14日 新年会・成人式
- 2月25日 避難訓練
- 3月 1日 地域交流会（ふれあいクラブ発表会）
- 3月10日 内科検診
- 3月23日 合同消防訓練

- 毎月（第1水曜日）ふれあいクラブ
5日 工賃支給日・体重測定
25日 自治会・誕生日会（利用者の誕生日）

特別支援学校実習

（主）岡山西支援学校 平成28年6月13日～24日 1名

教育職員免許法の特例に基づく「介護等体験」

（従）岡山大学 平成28年8月29日～9月2日 1名
（従）岡山大学 平成28年9月12日～9月23日 1名

定期的なボランティア実習

（主）明誠学院高等学校 平成28年4月23日～10月15日 木曜日14回
（生徒5名 先生1名）

（従）岡山市社会福祉協議会主催「夏のボランティア体験事業」で学生の参加があった。

セルブ拠点区分 貸借対照表

平成29年3月31日現在

社会福祉法人 自然の森

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	25,498,654	32,772,673	△7,274,019	流動負債	6,409,553	3,481,262	2,928,291
現金	71,434	109,608	△38,174	事業未払金	3,228,565	2,376,208	852,357
現金 1	43,717	88,932	△45,215	1年以内返済予定リース債務	650,004	650,004	0
現金 2	27,717	20,676	7,041	職員預り金	530,984	455,050	75,934
預貯金	14,696,011	21,378,144	△6,682,133	賞与引当金	2,000,000	0	2,000,000
中国銀行 1	10,635,807	16,709,760	△6,073,953	固定負債	6,441,636	6,687,713	△246,077
中国銀行 2	1,016,215	1,937,007	△920,792	リース債務	2,871,134	3,521,138	△650,004
J A 岡山 1	1,612,080	1,243,353	368,727	退職給与引当金	3,570,502	3,166,575	403,927
J A 岡山 2	1,431,909	1,488,024	△56,115	退職給付引当金	3,570,502	3,166,575	403,927
事業未収金	10,647,207	11,200,919	△553,712	負債の部合計	12,851,189	10,168,975	2,682,214
前払金	84,002	84,002	0	純 資 産 の 部			
固定資産	171,394,317	172,049,681	△655,364	基本 金	72,890,000	72,890,000	0
基本財産	80,436,154	83,791,588	△3,355,434	1号基本金	46,890,000	46,890,000	0
土 地	46,170,000	46,170,000	0	2号基本金	26,000,000	26,000,000	0
建 物	34,266,154	37,621,588	△3,355,434	国庫補助金等特別積立金	26,282,911	28,304,682	△2,021,771
その他の固定資産	90,958,163	88,258,093	2,700,070	国庫補助金等特別積立金	26,282,911	28,304,682	△2,021,771
土 地	56,194,715	56,194,715	0	その他の積立金	7,000,000	2,000,000	5,000,000
建 物	9,353,443	9,689,913	△346,470	人件費積立金	5,000,000	0	5,000,000
建物付属設備	5,358,428	5,959,558	△601,130	工賃変動積立金	2,000,000	2,000,000	0
構 築 物	1,947,961	2,222,548	△274,587	次期繰越活動増減差額	77,868,871	91,458,697	△13,589,826
機械及び装置	1,202,589	1,488,707	△286,118	(うち当期活動増減差額)	△8,589,826	1,128,181	△9,718,007
車輛運搬具	1,816,167	1,302,654	513,513	純資産の部合計	184,041,782	194,653,379	△10,611,597
器具及び備品	1,626,969	2,005,544	△378,575				
有形リース資産	2,660,981	3,991,471	△1,330,490				
権 利	226,408	226,408	0				
退職給付引当資産	3,570,502	3,166,575	403,927				
退職給付引当資産	3,570,502	3,166,575	403,927				
人件費積立資産	5,000,000	0	5,000,000				
工賃変動積立資産	2,000,000	2,000,000	0				
資産の部合計	196,892,971	204,822,354	△7,929,383	負債及び純資産の部合計	196,892,971	204,822,354	△7,929,383

セルブ拠点区分 資金収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	就労支援事業収入	11,870,000	10,834,643	1,035,357	
	就労支援事業収入	11,870,000	10,834,643	1,035,357	
	障害福祉サービス事業等収入	63,530,000	58,030,710	5,499,290	
	自立支援給付費収入	60,000,000	55,156,890	4,843,110	
	訓練等給付費収入	60,000,000	55,156,890	4,843,110	
	利用者負担金収入	1,730,000	1,320,845	409,155	
	一割負担収入	20,000	17,215	2,785	
	給食費収入	1,700,000	1,299,780	400,220	
	行事費収入	10,000	3,850	6,150	
	その他の事業収入	1,800,000	1,552,975	247,025	
	補助金事業収入	500,000	316,975	183,025	
	その他の事業収入	1,300,000	1,236,000	64,000	
	経常経費寄附金収入	1,100,000	1,109,935	△9,935	
	受取利息配当金収入	10,000	516	9,484	
	その他の収入	2,570,000	2,385,430	184,570	
	受入研修費収入	10,000	10,000	0	
	利用者等外給食費収入	2,500,000	2,372,430	127,570	
	雑収入	60,000	3,000	57,000	
	行事	30,000	0	30,000	
	その他	30,000	3,000	27,000	
事業活動収入計(1)		79,080,000	72,361,234	6,718,766	
支出	人件費支出	47,600,000	45,743,807	1,856,193	
	職員給料支出	28,200,000	27,796,230	403,770	
	給与支出	25,000,000	24,695,889	304,111	
	諸手当支出	3,200,000	3,100,341	99,659	
	職員賞与支出	6,600,000	6,597,455	2,545	
	非常勤職員給与支出	6,300,000	5,903,855	396,145	
	退職給付支出	500,000	532,188	△32,188	
	退職給付支出	500,000	532,188	△32,188	
	法定福利費支出	6,000,000	4,914,079	1,085,921	
	事業費支出	6,230,000	5,829,209	400,791	
	給食費支出	3,320,000	3,025,884	294,116	
	医薬品費支出	10,000	33,955	△23,955	
	保健衛生費支出	260,000	243,727	16,273	
	健康診断費支出	260,000	243,727	16,273	
	教養娯楽費支出	300,000	281,337	18,663	
	日用品費支出	50,000	73,980	△23,980	
	水道光熱費支出	1,200,000	1,031,223	168,777	
	電気	800,000	722,236	77,764	
	ガス	200,000	158,420	41,580	
	水道	200,000	150,567	49,433	
	燃料費支出	10,000	0	10,000	
	消耗器具備品費支出	20,000	0	20,000	
	消耗品費	10,000	0	10,000	
	器具什器費	10,000	0	10,000	
	保険料支出	10,000	300	9,700	
	車両費支出	1,000,000	1,126,761	△126,761	
	雑支出	50,000	12,042	37,958	
事務費支出	9,550,000	8,245,242	1,304,758		

セルプ拠点区分 資金収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	福利厚生費支出	350,000	281,271	68,729	
	研修研究費支出	450,000	376,933	73,067	
	事務消耗品費支出	350,000	235,843	114,157	
	消耗品費	250,000	207,151	42,849	
	器具什器費	100,000	28,692	71,308	
	印刷製本費支出	300,000	234,154	65,846	
	水道光熱費支出	300,000	280,108	19,892	
	修繕費支出	500,000	158,158	341,842	
	通信運搬費支出	540,000	523,478	16,522	
	電話	500,000	497,621	2,379	
	郵便	40,000	25,857	14,143	
	会議費支出	10,000	3,000	7,000	
	広報費支出	40,000	26,476	13,524	
	業務委託費支出	3,250,000	2,986,650	263,350	
	給食費	2,700,000	2,565,990	134,010	
	清掃	160,000	118,260	41,740	
	嘱託医	40,000	0	40,000	
	会計顧問料	350,000	302,400	47,600	
	手数料支出	40,000	25,062	14,938	
	振込手数料	30,000	20,652	9,348	
	その他手数料	10,000	4,410	5,590	
	保険料支出	450,000	460,205	△10,205	
	任意	350,000	382,325	△32,325	
	火災	100,000	77,880	22,120	
	賃借料支出	650,000	551,847	98,153	
	租税公課支出	1,050,000	1,041,231	8,769	
	保守料支出	720,000	577,616	142,384	
	浄化槽	250,000	212,370	37,630	
	消防設備	60,000	51,840	8,160	
	電気保安	60,000	55,775	4,225	
	コンピュータ保守	300,000	217,196	82,804	
	印刷機	50,000	40,435	9,565	
	諸会費支出	350,000	337,580	12,420	
	雑支出	200,000	145,630	54,370	
	就労支援事業支出	11,000,000	9,874,622	1,125,378	
	就労支援販売支出	4,000,000	3,267,528	732,472	
	就労支援事業製造原価支出	4,000,000	3,267,528	732,472	
	就労支援販管費支出	7,000,000	6,607,094	392,906	
	支払利息支出	200,000	145,056	54,944	
	事業活動支出計(2)	74,580,000	69,837,936	4,742,064	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,500,000	2,523,298	1,976,702	
施設整備等に よる	施収				
	入	施設整備等補助金収入	630,000	630,000	0
		施設整備等補助金収入	630,000	630,000	0
		施設整備等収入計(4)	630,000	630,000	0
	支	固定資産取得支出	1,800,000	1,277,041	522,959
	車輦運搬具取得支出	1,100,000	1,007,041	92,959	
	器具及び備品取得支出	700,000	270,000	430,000	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	800,000	650,004	149,996	
	施設整備等支出計(5)	2,600,000	1,927,045	672,955	

セルブ拠点区分 資金収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,970,000	△1,297,045	△672,955	
その入	積立資産取崩収入	70,000	174,588	△104,588	
	退職給付引当資産取崩収入	70,000	174,588	△104,588	
	退職給付引当資産取崩収入	70,000	174,588	△104,588	
	その他の活動収入計(7)	70,000	174,588	△104,588	
活動による収支	積立資産支出	5,600,000	5,603,151	△3,151	
	退職給付引当資産支出	600,000	603,151	△3,151	
	退職給付引当資産支出	600,000	603,151	△3,151	
	人積件費立資産支出	5,000,000	5,000,000	0	
	拠点区分間繰入金支出	4,000,000	4,000,000	0	
	その他の活動支出計(8)	9,600,000	9,603,151	△3,151	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△9,530,000	△9,428,563	△101,437	
	予備費支出(10)	0	—	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△7,000,000	△8,202,310	1,202,310	
	前期末支払資金残高(12)	0	29,941,415	△29,941,415	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	△7,000,000	21,739,105	△28,739,105	

セルプ拠点区分 事業活動計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位:円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	10,834,643	11,517,685	△683,042
	就労支援事業収益	10,834,643	11,517,685	△683,042
	障害福祉サービス等事業収益	58,030,710	63,819,314	△5,788,604
	自立支援給付費収益	55,156,890	60,110,366	△4,953,476
	訓練等給付費収益	55,156,890	60,110,366	△4,953,476
	利用者負担金収益	1,320,845	1,989,548	△668,703
	一割負担	17,215	0	17,215
	給食費	1,299,780	1,988,048	△688,268
	行事費	3,850	1,500	2,350
	その他の事業収益	1,552,975	1,719,400	△166,425
	補助金事業収益	316,975	458,400	△141,425
	その他の事業収益	1,236,000	1,261,000	△25,000
	経常経費寄附金収益	1,109,935	1,504,935	△395,000
	サービス活動収益計(1)	69,975,288	76,841,934	△6,866,646
費用	人件費	48,147,734	42,506,834	5,640,900
	職員給料	27,796,230	24,636,034	3,160,196
	給与	24,695,889	21,723,510	2,972,379
	諸手当	3,100,341	2,912,524	187,817
	職員賞与	6,597,455	5,779,639	817,816
	賞与引当金繰入	2,000,000	0	2,000,000
	非常勤職員給与	5,903,855	6,609,930	△706,075
	退職給付費用	936,115	758,878	177,237
	退職給付費用	936,115	0	936,115
	法定福利費	4,914,079	4,722,353	191,726
	事業費	5,829,209	5,559,981	269,228
	給食費	3,025,884	3,094,092	△68,208
	医薬品費	33,955	432	33,523
	保健衛生費	243,727	158,976	84,751
	健康診断費	243,727	158,976	84,751
	医療費	0	426	△426
	教養娯楽費	281,337	302,988	△21,651
	日用品費	73,980	648	73,332
	水道光熱費	1,031,223	1,078,067	△46,844
	電気	722,236	720,507	1,729
	ガス	158,420	181,593	△23,173
	水道	150,567	175,967	△25,400
	保険料	300	1,320	△1,020
	車両費	1,126,761	923,032	203,729
	雑費	12,042	0	12,042
	事務費	8,245,242	9,419,102	△1,173,860
	福利厚生費	281,271	272,338	8,933
	旅費交通費	0	159,631	△159,631
	研修研究費	376,933	168,104	208,829
	事務消耗品費	235,843	236,437	△594
	消耗品費	207,151	194,114	13,037
	器具什器費	28,692	42,323	△13,631
印刷製本費	234,154	220,360	13,794	
水道光熱費	280,108	272,350	7,758	
修繕費	158,158	1,132,507	△974,349	

セルプ拠点区分 事業活動計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位:円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
	通信運搬費	523,478	426,423	97,055
	電話	497,621	409,543	88,078
	郵便	25,857	16,880	8,977
	会議費	3,000	0	3,000
	広報費	26,476	55,040	△28,564
	業務委託費	2,986,650	3,177,282	△190,632
	給食	2,565,990	2,539,026	26,964
	清掃	118,260	118,260	0
	会計顧問料	302,400	302,400	0
	その他	0	217,596	△217,596
	手数料	25,062	40,112	△15,050
	振込手数料	20,652	15,224	5,428
	その他手数料	4,410	24,888	△20,478
	保険料	460,205	590,308	△130,103
	任意	382,325	506,196	△123,871
	火災	77,880	84,112	△6,232
	賃借料	551,847	536,172	15,675
	租税公課	1,041,231	1,235,918	△194,687
	保守料	577,616	512,056	65,560
	浄化槽	212,370	212,370	0
	消防設備	51,840	51,840	0
	電気保安	55,775	55,775	0
	コンピュータ保守	217,196	151,636	65,560
	印刷機	40,435	40,435	0
	諸会費	337,580	250,100	87,480
	雑費	145,630	133,964	11,666
	就労支援事業費用	9,874,622	12,267,562	△2,392,940
	就労支援販売原価	3,267,528	6,425,392	△3,157,864
	当期就労支援事業製造原価	3,267,528	6,425,392	△3,157,864
	就労支援販管費	6,607,094	5,842,170	764,924
	減価償却費	7,336,332	7,905,075	△568,743
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△2,651,771	△2,616,701	△35,070
	サービス活動費用計(2)	76,781,368	75,041,853	1,739,515
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△6,806,080	1,800,081	△8,606,161
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	516	4,582	△4,066
	その他のサービス活動外収益	2,385,430	2,002,521	382,909
	受入研修費収益	10,000	0	10,000
	利用者等外給食収益	2,372,430	1,774,620	597,810
	雑収益	3,000	227,901	△224,901
	退職給与引当資産差益	0	211,401	△211,401
	その他	3,000	16,500	△13,500
サービス活動外収益計(4)	2,385,946	2,007,103	378,843	
費用				
支払利息	145,056	145,056	0	
その他のサービス活動外費用	24,636	33,946	△9,310	
雑損失	24,636	33,946	△9,310	
雑損失	24,636	33,946	△9,310	
サービス活動外費用計(5)	169,692	179,002	△9,310	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,216,254	1,828,101	388,153	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△4,589,826	3,628,182	△8,218,008	

セルブ拠点区分 事業活動計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位：円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
特別増	収益			
	施設整備等補助金収益	630,000	0	630,000
	施設整備等補助金収益	630,000	0	630,000
	特別収益計(8)	630,000	0	630,000
減部の	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	1	△1
	車両運搬具売却損・処分損	0	1	△1
	国庫補助金等特別積立金積立額	630,000	0	630,000
	拠点区分間繰入金費用	4,000,000	2,500,000	1,500,000
	特別費用計(9)	4,630,000	2,500,001	2,129,999
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△4,000,000	△2,500,001	△1,499,999
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△8,589,826	1,128,181	△9,718,007
繰越活動増減差				
	前期繰越活動増減差額(12)	91,458,697	90,330,516	1,128,181
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	82,868,871	91,458,697	△8,589,826
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	5,000,000	0	5,000,000
	人件費積立金積立額	5,000,000	0	5,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13+14+15)-(16)	77,868,871	91,458,697	△13,589,826

財務諸表に対する注記(セルフ拠点区分)

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 建物、構築物、車両運搬具、器具及び備品、権利(非減価償却資産を除く)、ソフトウェア定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

社会福祉法人岡山県社会福祉協議会の岡山県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に基づく掛金相当額を計上している。

② 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式を採用している。

(4) リース取引の会計処理

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理をしている。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

当法人で採用する退職共済制度は以下のとおりである。

独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度及び社会福祉法人岡山県社会福祉協議会の岡山県民間社会福祉施設職員等退職手当給付制度に加入している。

4. 拠点が作成する財務諸表等とサービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表は以下のとおりである。

(1) セルフ拠点財務諸表(第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式)

(2) 拠点区分資金収支明細書(会計基準別紙3)

サービス区分がないため省略している。

(3) 拠点区分事業活動明細書(会計基準別紙4)

サービス区分がないため省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	46,170,000			46,170,000
建物	37,621,588		3,355,434	34,266,154
合計	83,791,588		3,355,434	80,436,154

6. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地(基本財産) 46,170,000

建物(基本財産) 34,266,154

合計 80,436,154

担保している債務の種類及び金額は以下のとおりである。

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	46,170,000	0	46,170,000
建物(基本財産)	101,544,920	67,278,766	34,266,154
土地	56,194,715	0	56,194,715
建物	43,502,669	34,149,226	9,353,443
建物付属設備	8,418,400	3,059,972	5,358,428
構築物	3,484,950	1,536,989	1,947,961
機械及び装置	5,305,980	4,103,391	1,202,589
車両運搬具	5,299,770	3,483,603	1,816,167
器具及び備品	10,814,491	9,187,522	1,626,969
権利	226,408	0	226,408
有形リース資産	6,652,451	3,991,470	2,660,981
合計	287,614,754	126,790,939	160,823,815

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	10,647,207	0	10,647,207
合計	10,647,207	0	10,647,207

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

平成29年度エスポール・スター事業計画

エスポール・スター（生活介護事業）は、「スター」の名のように一人一人が輝き、利用者の人格・人権を尊重し定員37名の生活介護事業とする。

生活介護事業は、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、個々の能力や適性に応じた入浴、排泄及び食事の介護等 ADL 面の自立と支援を行う。創作的活動又は生産活動又はその他の日中活動の機会の提供を通じて QOL の向上を目指す。また、利用者の人権を尊重し、自己決定・自己選択の場を広げ豊かな地域生活が送れるような支援を行う。

事業運営基盤の充実を図るため次のことを基本方針に取り組んでいく。

- (1) 「指定障害者支援施設の人員、設備及び運営に関する基準」及び「生活介護事業の運営規程」に基づく適正な運営。
- (2) 利用者の人権を尊重した利用者主体のサービスを提供し、職員行動規範を守り、専門性を高め様々なニーズに対応できるよう質の向上を目指す。
- (3) 業務上知り得た利用者等及びその家族の個人情報について、関係法令等を遵守し適正に取り扱いながら、関係機関との連携に努める。
- (4) 地域との連携・交流を図りながら、地域貢献を推し進めていく。

指 定 生 活 介 護 事 業

1. 支援の目的

- ・ 生活介護の個別支援計画に関するトータル的な作成・立案・モニタリング等の支援を行う
- ・ 生産活動や創作活動等の様々な日中活動の機会の提供を通じて、日常生活能力に応じた個々の自立に向けた支援を行う。
- ・ 利用者の人権を尊重した利用者主体活動の推進。

2. 職員

職員の配置は運営規程による基準を遵守し、管理者を中心に、サービス管理責任者、主任生活支援員、生活支援員、看護師、医師（嘱託）、が力を合わせて、総合的にかつ適切に利用者の支援・指導に当たる。

主任生活支援員・生活支援員・看護師の総数は常勤換算方法で前年度の平均実利用者数を1.7で除して得た数以上の職員配置とする。

3. 日中活動支援

- ・ 生産活動支援
生産活動として、軽作業・ボカシ作成作業・リサイクル活動・点字ブロック関係作業・農耕・さをり織り等その他支援の提供とそれに対する対価として工賃を支払う。
- ・ 療育的活動支援
日常生活支援（地域生活の自立に向け ADL 向上の訓練）
豊かな社会生活支援の場として文化活動・余暇活動・行事等を支援
利用者主体の自治会・クラブ活動の支援
送迎支援として自力での通所が困難な利用者のために、サービスエリア内において利用者の希望により便宜に配慮した送迎サービスを行なう。その際車両点検と安全運転に努める。

- ・ 健康管理支援総合健康診断と内科健診、服薬支援、健康や衛生面について日常の見守り、嘱託医との連携、家庭との連携。日々の看護師等職員によるバイタルチェックを行う。
風邪やインフルエンザ・感染性胃腸炎等の感染予防に努める。
- ・ 昼食の提供支援
希望者には厨房で作成した昼食を有償提供（1食 300円）。献立表は毎月配布。
献立表は毎月配布し、栄養のバランスを考え季節感が感じられるよう工夫する。
個々の利用者状況に合わせたアレルギー食・特別食（一口大）等の食事提供。
- ・ 家庭訪問支援
心身の状況の変化により、5日以上連続して欠席の利用者には、同意のもと1時間前後の自宅訪問を行い、継続利用のための支援や6ヶ月ごとに個別支援計画の見直しを行う。
- ・ 欠席時対応支援利用予定していた日（2日前）に、急に利用を中止した場合に家族等と連絡を行い相談援助支援する。
- ・ 基本の利用時間より希望があれば個別のニーズに合わせ、随時、延長支援を行う。
- ・ 相談・援助支援
利用者・家族への相談援助、情報提供を随時行う。
- ・ 余暇等随時施設外での活動支援を行う。
- ・ 利用者が他事業（短期入所・居宅介護など）利用する場合は、その事業所と連携して支援を行う。相談支援事業所との連携
- ・ 利用者が成年後見制度を活用することができるように支援を行う。
- ・ 随時社会経験活動として施設外支援等、外出の機会を多く設ける。
- ・ その他

4. 地域交流

- ・ 地域の民生委員等ボランティアによるふれあいクラブ（月1回）
- ・ お散歩会等地域との交流を図るため、地域の行事やイベント、文化活動等に積極的に参加し、地域文化を体験する機会を増やし社会的見聞を深める
- ・ 地域相談の取り組み
- ・ 実習生・ボランティア・見学の受入
 - ・ 地域小・中学校のボランティア体験
 - ・ 明誠学院高校のボランティア実習
 - ・ 特別支援学校の職場体験実習
 - ・ 教員免許特例法による介護等体験実習
 - ・ 介護福祉士の実習
 - ・ 見学・ボランティア随時
 - ・ 保育士の実習
 - ・ その他

5. 防災計画

消防計画に基づき、防災訓練、防災教育を定期的実施し意識の向上に努める。また、地域と連携し行えるようにする。

ひやり・はっと事故報告を徹底し、要因を分析・把握・防止策を共有化する。

リスクマネジメントに努める。緊急時、事故発生時等における対処法を策定する。

6. 職員会議・職員研修

- ・ 職員会議・施設内外研修等随時行う。
- ・ より良い支援が提供できるよう、個別研修計画・経験年数に応じた OJT,OFFJT の実施を通じて、切磋琢磨・自己研鑽し、専門職員としての知識・技術の習得に努め職員の資質の向上を図る
- ・ 専門職としての資格の取得をすべく各種研修へ積極的に参加する。
- ・ 人権尊重・虐待防止等の研修を随時行い、意識を高める。
- ・ 研修で習得した知識は情報開示し、現場に活用して職員のレベルアップに繋げる。

7. その他

- ・ 苦情解決対応・体制は「苦情解決事業規程」による。
- ・ 家族会家族会と協力連携し、よりよい施設になるよう努める。
- ・ 個人情報保護
- ・ プライバシーの保護・守秘義務・関係法令の遵守。
- ・ 人権尊重・虐待防止のための措置
- ・ 職員は行動規範を基に利用者主体の人権を尊重する。
- ・ 人権尊重・虐待防止のチェックリストを定期的に行う。
- ・ 身体拘束等の禁止
- ・ 成年後見制度の活用支援
- ・ 協力医療機関（嘱託医）
医療法人 おおぞら会 同仁病院 院長 遠迫 克英
岡山市北区下伊福上町 15-7 086-525-2661

8. 開所日について

開所日については、利用日数特例届出に基づき開所する。

9. その他

運営規程及び重要事項説明書記載の支援

10. 年間行事予定

- 4月 入所式
- 5月 障害者スポーツ大会・お散歩会（地域交流）
- 6月 運動会
- 7月 総合健康診断
- 8月 消火訓練
- 9月 学区運動会
- 10月 社会見学
- 11月 地域交流事業
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年会・成人式
- 2月 内科検診
- 3月 地域交流ふれあいクラブ・合同防災訓練

平成29年度スター拠点区分 予算書

社会福祉法人 自然の森
スター拠点区分

(収入の部)

(単位:千円)

科	目	本年度予算額	昨年度予算額	比較増減	説 明
大区分	中区分・小区分	A	B	A-B	
255	就労支援事業収入	1,000	1,100	△100	
	01 就労支援事業収入	1,000	1,100	△100	
256	障害福祉サービス事 等収入	123,880	125,360	△1,480	
	01 自立支援給付費収入	121,300	122,180	△880	
	01 介護給付費収入	120,000	120,890	△890	
	05 サービス利用計画作成 費収入	1,300	1,290	10	
	03 利用者負担金収入	2,080	2,080	0	
	02 給食費収入	1,990	1,990	0	
	01 一割負担収入	50	50	0	
	03 行事収入	30	30	0	
	09 その他収入	10	10	0	
	06 その他事業収入	500	1,100	△600	
	01 補助金事業種収入	500	1,100	△600	
262	経常経費寄付金収入	50	60	△10	
263	受取利息配当金収入	10	10	0	
264	その他収入	200	200	0	
	01 受け入れ研修費収入	50	50	0	
	02 利用者等外給食費収入	70	70	0	
	03 雑収入	80	80	0	
	05 行事	30	30	0	
	07 その他	50	50	0	
	事業活動収入計(1)	125,140	126,730	△1,590	
271	施設設備等補助金収入	0	750	△750	
	01 施設設備等補助金収入	0	750	△750	
	施設整備等収入計(4)	0	750	△750	
	資金当期収入計	125,140	127,480	△2,340	
	資金収入合計	125,140	127,480	△2,340	

平成29年度スター拠点区分 予算書

社会福祉法人 自然の森

スター拠点区分

(支出の部)

(単位:千円)

科	目	本年度予算額	昨年度予算額	比較増減	説 明	
大区分	中区分・小区分	A	B	A-B		
201人件費支出		91,640	89,600	2,040		
	02職員給料支出	56,900	55,600	1,300		
	01給与支出	50,500	49,500	1,000		
	02諸手当支出	6,400	6,100	300		
	03職員賞与手当	12,000	11,600	400		
	05非常勤職員手当	10,840	10,500	340		
	07退職給付支出	900	900	0		
	01退職給付支出	900	900	0		
	08法定福利費支出	11,000	11,000	0		
202事業費支出		10,470	10,040	430		
	01給食費支出	3,100	3,100	0		
	03医薬品費支出	200	200	0		
	05保健衛生費支出	300	260	40		
	01健康診断費支出	300	260	40		
	06医療費支出	10	10	0		
	08教養娯楽費支出	600	600	0		
	09日用品費支出	160	160	0		
	12水道光熱費	1,750	1,750	0		
	01電気	1,000	1,000	0		
	02ガス	400	400	0		
	03水道	350	350	0		
	13燃料費支出	50	50	0		
	14消耗器具備品費支出	200	210	△10		
	01消耗品費	50	10	40		
	02器具什器費	150	200	△50		
	15保険料支出	100	100	0		
	16賃借料支出	800	700	100		
	20車両費支出	3,000	2,700	300		
	23雑支出	200	200	0		
	203事務費支出		13,640	13,640	0	
		01福利厚生費支出	700	700	0	
		03旅費交通費支出	10	10	0	
04研修研究費支出		600	600	0		
05事務消耗品費支出		350	350	0		
01消耗品費		200	200	0		
02器具什器費		150	150	0		
06印刷製本費支出		300	300	0		
07水道光熱費		500	500	0		
09修繕費支出		1,000	1,000	0		
10通信運搬費支出		540	540	0		
01電話		500	500	0		
02郵便		40	40	0		
11会議費支出		10	10	0		
12広報費支出		70	70	0		
13業務委託費支出		5,520	5,520	0		
01給食費		4,800	4,800	0		
02清掃		160	160	0		
03嘱託医		150	150	0		
05会計顧問料		310	310	0		
09その他		100	100	0		
14手数料支出		40	40	0		
01振込手数料		30	30	0		
02その他手数料		10	10	0		
15保険料支出		650	650	0		
01任意		500	500	0		
02火災		150	150	0		
16賃借料支出		1,800	1,800	0		
18租税公課支出		200	200	0		
19保守料支出		980	980	0		
01エレベーター		120	120	0		
03浄化槽		300	300	0		
04消防設備		80	80	0		
05電気保安	100	100	0			
06コンピューター保守	300	300	0			
07印刷機	70	70	0			
09その他	10	10	0			
21諸会費支出	170	170	0			
23雑支出	200	200	0			

平成29年度スター拠点区分 予算書

社会福祉法人 自然の森
スター拠点区分

(支出の部)

(単位:千円)

科 目	本年度予算額	昨年度予算額	比較増減	説 明
大区分	A	B	A-B	
中区分・小区分				
204就労支援事業支出	1,000	910	90	
01就労支援販売支出	500	410	90	
01就労支援事業製造原価支出	500	400	100	
02就労試演事業仕入支出	0	10	△10	
02就労支援販売支出	500	500	0	
208支払利息支出	50	50	0	
事業活動支出計(2)	116,800	114,240	2,560	
221設備資借入金元金償還支出	840	840	0	
222固定資産取得支出	500	2,400	△1,900	
06車両運搬具取得支出	0	1,900	△1,900	
07器具及び備品取得支出	500	0	0	
施設設備等支出計(5)	1,340	3,240	△1,900	
234積立資産支出	1,000	11,000	△10,000	
01退職給付費引当資産支出	1,000	1,000	0	
01退職給付費引当資産支出	1,000	1,000	0	
11人件費積立資産支出	0	10,000	△10,000	
242拠点区分間繰入金支出	6,000	6,000	0	
その他の活動費支出計(8)	7,000	17,000	△10,000	
資金当期支出計	125,140	134,480	△9,340	
当期資金収支差額合計(11)=(3+6+9)-(10)	0	△7,000	7,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	△7,000	7,000	
資金支出合計	125,140	127,480	△2,340	

平成28年度事業報告

エスポアール・スター

エスポアール・スターは、生活介護事業所として平均障害程度区分が5.6と重度の障害をもつ利用者が多いことから、個々の日常生活能力に応じた日中活動を通じて日常生活動作の自立に向け支援を行った。また、「みんなは一人のために、一人はみんなのために」をスローガンとして利用者一人一人の人権・人格を尊重し、利用者主体のサービス提供を行うことで豊かな地域生活が安定・継続して送れるよう支援を行なった。さらに、実習生、地域ボランティア等を積極的に受け入れ、職員は「職員行動規範」を毎朝唱和し、専門性を高め様々なニーズに対応できるよう質の向上に努めた。

平成28年度定員37名に対して、年間延べ利用者数は前年度より47人増加した。出勤率も0.7%上がった。障害支援区分は、5と6の割合が前年度より15.5%増加し年間平均障害程度区分は5.6であった。職員配置は人員配置体制(1.7:1)に対して常勤換算で18.0のところ、平均20.0人以上と加配置した。

1 利用状況

(1) 利用契約者数の変動と出勤率(定員37名に対して)

開所日数	4月 (23)	5月 (21)	6月 (24)	7月 (22)	8月 (22)	9月 (23)	10月 (22)	11月 (23)	12月 (22)	1月 (21)	2月 (22)	3月 (24)	合計 (269)
契約数	36	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	426
延べ数	719	652	763	698	671	696	694	692	692	636	642	749	8,304
出勤率 (%)	84.5	83.9	85.9	85.7	82.4	81.8	85.3	81.3	85.0	81.9	78.9	84.3	平均 83.4
1日平均 利用者	31.3	31.0	31.8	31.7	30.5	30.3	31.5	30.1	31.5	30.3	29.2	31.2	30.9
平均障害 支援区分	5.5	5.5	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.5	5.5	5.6	5.6
5.6の割合 (%)	94.4	94.6	97.6	97.1	97.2	97.3	97.1	97.4	97.1	97.0	93.9	97.1	96.5

平成27年度 8,257人 → 平成28年度 8,304人

(2) 施設支援費受給者証障害支援区分の内訳

障害支援区分	年間延べ利 用者数(人)	年間延べ利用者 比率(%)	男 (人)	女 (人)	計 (人)
4	289	3.4(%)	1	1	2
5	3,193	38.5(%)	6	7	13
6	4,822	58.1(%)	14	7	21
合計	8,304	100(%)	21	15	36

*年度途中で支援区分に変更があった利用者が2名いた。

(3) 日常生活

発作注意 12名 (ヘッドギア着用7名)

昼の投薬支援 5人

アレルギー食 5人 一口食 8人 腎臓食 1名

(4) 平均年齢 (33.9歳)

歳	～19	20～29	30～39	40～49	50以上	計
男(20人)	1	5	7	5	2	20
女(15人)	1	6	6	2	0	15
計	2	11	13	7	2	35

平成29年3月31日現在

(5) 療育手帳と身体障害者手帳 精神障害手帳の内訳(人)

療育手帳と(身体障害者手帳)	男	女	計
A	20(6)(1)	15(4)	35(10)(1)
B	0	0	0
計	20(6)(1)	15(4)	35(10)(1)

平成29年3月31日現在

2 職員体制

職員配置は運営規程による基準を遵守した。管理者1名、サービス管理責任者1名。生活支援員は、人員配置体制Ⅰ(1.7:1)とし常勤換算で18名のところ20名以上の職員配置とした。生活支援員は福祉専門職員配置Ⅰとし職員は非常勤も含めて専門職員の割合を多くした。(社会福祉士2名・介護福祉士10名・精神保健福祉士1名)嘱託医・看護師各1名の配置とした。

3 利用者主体の支援

(1) 個別支援計画

サービス管理責任者は、アセスメント後、個別支援計画を作成・立案し利用者及び家族の同意の下支援を行なった。

個別支援計画の目標やこれからの支援のあり方については、普段から連絡帳等で利用者、家族と連絡・相談を密に取り、現状の分析とこれからの支援の内容や方向性をケース会議等で検討した。さらに、目標達成度のモニタリングを6ヶ月に一度、9月と3月に行い、より目標に適したサービス提供ができるように支援計画の見直し・作成・説明を行なった。

(2) 日中活動支援

① 生産活動支援

生産活動は目的別にグループに分け、点字ブロック委託作業・軽作業・ボカシ作成作業・リサイクル活動・農耕・さをり織り等その他作業支援を提供し、それに対する対価として工賃を支払った。軽作業の収入が増加した。今年度は月額平均工賃が1,734円であった。

② 療育的活動・日常生活支援

療育活動は目的別により合同活動は1か月に1回・その他の個別活動・体力リハビリ活動・音楽活動や創作活動・調理活動・社会経験活動等を定期的計画的に支援した。

日常生活支援ではADLの向上に向けて身辺自立が確立できるように支援を行った。

③ 文化活動・余暇活動・行事等の支援

文化活動・余暇活動は土曜日や祝日の開所日に実施し、豊かな生活の場となった。
行事は個々にきめ細かく計画をたて、多く参加できるよう支援した。

④ 自治会の支援

月1回利用者主体の自治会を2施設合同で行い利用者の意見を反映した。

⑤ 健康管理支援

健康管理では7月に淳風会による総合健康診断を行い家庭に報告した。嘱託医による健康相談日をほぼ毎月設けた。また、11月に施設にてインフルエンザ予防接種を、1月には定期的な内科検診を実施した。毎朝の検温・日々の手洗い・うがい・手指消毒・マスクを奨励し利用者の健康や衛生面について支援した。環境面でも空気清浄機・除菌マット・インフルエンザ除菌等徹底して行った。家庭にもマニュアルを配布し初期症状で欠席を呼びかけるなどを徹底したが、少し流行した。休所には至らなかった。

昼食時、家族から依頼された投薬の必要な利用者には見守り・管理等支援を行った。

⑥ 昼食の提供支援

給食の献立表・摂取カロリーを掲示板で知らせると共に毎月利用者の家庭に配布し、約一月遅れではあるがホームページで給食の写真を掲載した。一口大・アレルギー除去食にも配慮した。個々の状態に応じて自力で食べやすい食事となるよう工夫し健康状態や希望に応じて、お粥など食べやすい食事となるよう工夫した。バイキング給食も6月に1回実施した。奇数月に給食会議を開催し全体の調整を図った。尚、委託給食は献立が豊富であること、利用者の嗜好にマッチしていること等から大変好評である。

⑦ 欠席時支援

新利用者は年度始めに家庭訪問した。又、心身の状況の変化により、欠席した利用者にはその都度連絡し支援を行った。5日以上連続した長期欠席の利用者には同意のもと、継続利用のための家庭訪問支援を3名で3回行った。

⑧ 相談・援助支援

利用者・家族から随時相談に応じ、サービス利用手続きや社会資源の情報提供等を行った。地域相談にも応じ、地域に密着した事業を展開した。また、特別支援学校からの実習や見学等多数あり相談・援助に努めた。相談支援事業所とも連携した。

4 地域交流

① 毎月1回地域のボランティアの方々にきていただき、ふれあいクラブ（お茶、銭太鼓、文化等）を実施し地域交流を深めた。民生委員や愛育委員等地域ボランティアの方の協力体制が定着した。地域の愛育委員との交流は5月と11月に2回あった。

② お散歩会等地域の行事やイベント、文化活動等に積極的に参加し、地域文化を体験する機会を増やし社会的見聞を深めた。また、地区の運動会にも参加し交流を図った。

5 送迎サービス

送迎サービスを7方向で行い状況に応じて個別送迎を行った。今年度は7件と事故があった。その中で自損事故が5件、車両対車両事故2件でいずれも重大事故は無かった。定期的な車両の点検に努め、走行中・降車直後の利用者に配慮すると共に、事故原因となる要因を分析し安全運転の啓蒙に努め「だろー運転」を行わないよう運転に集中するよう励行した。

6 防災対策

- ① 水害や火事・地震等色々な災害が起きた際の避難訓練を予告なしに定期的に行った。また、別途定めた防災および消防計画に基づいて災害に対する安全管理に努めた。昨年に引き続き今年も、地域と連携し馬屋下消防団と合同で3月には合同避難訓練・消火訓練を実施し、地域防災も図り利用者と職員の安全防災意識の向上に努めた。
- ③ 「ひやり・はっと報告」「事故報告」では、42件の報告があり、昨年より多くなった。時間帯では午前中が多く、発作や接触による外傷転倒が54%と占めた。医療機関の受診は3件あり、時間は11時から15時が多く発生した。小さなことからヒヤリハット報告を行い、起きたときには報告書はもちろんのこと、職員会議や引き継ぎで随時話し合い、事故原因となる要因を分析し重大事故の予防に努めた。

7 その他

① 苦情処理

苦情の受付窓口を設け「意見箱」を玄関に設置し、苦情受付を行った。その後平常より送迎時や連絡帳で利用者及びその家族との連絡を密にし、情報のやりとりを積極的に進めていたが、今年度は送迎に対して苦情が2人あった。口頭、電話、連絡帳等で話し合い相互理解し終了した。満足度アンケートを実施しホームページに開示した。

② 家族会

家族会と連携をとり家族等の要望が生かせるよう努力した。

③ 個人情報

ホームページを公表しているが、プライバシーの保護・守秘義務遵守の観点から知り得た情報が漏れないように職員への指導や書類の管理を行った。

④ 人権尊重・虐待防止について

虐待防止法が施行されたことに伴い、研修を深め意識を高めた。また、「職員行動規範」を基に職員会議等で随時利用者主体の人権を尊重するよう意識高揚を図った。「職員セルフチェックリスト」で自己チェックを行い人権についての再認識を深めた。

⑤ 医療機関への受診

今年は、事故報告で医療機関を受診した人は3件あったが軽微で済んだ。必要に応じかかりつけの医師と直接受診記録を渡したり同行したりと連携して支援にあたった。

⑥ 研修

施設内研修では今年度も人権擁護や虐待防止について、職員の意識向上や専門性を高めるため施設内研修を充実し4回行った。施設外研修に全員が積極的に参加し、KYT（危険予測トレーニング）虐待防止法やリスクマネジメント研修等に多く積極的に出席し、その内容を職員会議の中や施設内研修で報告し、職員の理解向上に努めた。

⑦ ボランティア

定期的な地域ボランティアとしてふれあいクラブでは5～6名、さらに運動会やクリスマス会など行事の時には、民生・児童委員、愛育委員、町内会長を初め地域の多くの参加者の協力が得られた。

⑧ その他

開所日については、「利用日数に係る特例の適用を受ける日中活動サービス等に係る届出」を行い、269日開所した。

8 年間行事実施

4月1日	入所式
4月6日	花見
4月29日	歴史のお散歩会（地域交流事業）
5月14日	ナイスハート
6月 3日	昼食バイキング
7月20日	総合健康診断
8月1日～5日	夏のボランティア体験 1名
9月18日	馬屋下地区運動会（馬屋下小学校運動場）
10月 8日	運動会（馬屋下小学校運動場）
10月28日	社会見学（赤磐市 ドイツの森）
11月17日	インフルエンザ予防接種（嘱託医師により）
11月27日	地域交流事業（チャリティバザー家族会と協賛）
11月 1日	ゆうあい文化祭参加
12月23日	クリスマス会
1月12日	内科検診
1月14日	成人式 新年会
3月 1日	地域交流会（ふれあいクラブ発表会）
3月 3日	合同防災訓練

毎月

5日	体重測定・工賃支給日
25日	自治会・誕生日会（利用者の誕生月）
第1水曜日	ふれあいクラブ

特別支援学校実習

岡山県立南支援学校	平成28年6月6日～17日	1名
	平成28年6月6日～10日	1名
	平成28年10月3日～14日	1名
岡山県立西支援学校	平成28年6月13日～24日	2名
	平成28年10月11日～21日	2名
	平成28年10月19日～21日	1名
	平成29年1月23日～27日	1名
岡山県立倉敷まきび支援学校	平成28年6月20日～7月1日	2名

介護福祉実習

岡山県立大学	平成28年9月5日～9日	2名
岡山医療福祉専門学校	平成28年12月12日～12月15日	2名

保育実習

中国短期大学	平成29年2月13日～24日	2名
--------	----------------	----

教育職員免許法の特例に基づく「介護等体験」

ノートルダム清心女子大学	平成28年9月12日～16日	1名
--------------	----------------	----

スタ一拠点区分 貸借対照表

平成29年3月31日現在

社会福祉法人 自然の森

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	32,490,404	41,048,332	△8,557,928	流動負債	5,426,117	2,383,566	3,042,551
現金	42,888	68,610	△25,722	事業未払金	2,426,117	2,383,566	42,551
現金 1	42,888	68,610	△25,722	賞与引当金	3,000,000	0	3,000,000
預貯金	12,315,189	20,914,149	△8,598,960	固定負債	7,816,318	8,135,393	△319,075
中国銀行 1	11,246,510	19,759,824	△8,513,314	設備資金借入金	840,000	1,680,000	△840,000
中国銀行 2	1,068,679	1,154,325	△85,646	退職給与引当金	6,976,318	6,455,393	520,925
事業未収金	20,006,324	20,047,350	△41,026	退職給付引当金	6,976,318	6,455,393	520,925
前払金	126,003	18,223	107,780	負債の部合計	13,242,435	10,518,959	2,723,476
固定資産	98,587,285	92,030,499	6,556,786	純 資 産 の 部			
基本財産	55,473,840	57,644,457	△2,170,617	基本 金	32,094,804	32,094,804	0
土 地	24,355,000	24,355,000	0	1号基本金	29,534,804	29,534,804	0
建 物	31,118,840	33,289,457	△2,170,617	2号基本金	2,560,000	2,560,000	0
その他の固定資産	43,113,445	34,386,042	8,727,403	国庫補助金等特別積立金	30,884,559	32,464,790	△1,580,231
土 地	9,367,500	9,367,500	0	国庫補助金等特別積立金	30,884,559	32,464,790	△1,580,231
建 物	1,179,300	1,768,950	△589,650	その他の積立金	10,000,000	0	10,000,000
建物付属設備	7,469,988	8,316,141	△846,153	人件費積立金	10,000,000	0	10,000,000
構 築 物	2,676,533	3,062,702	△386,169	次期繰越活動増減差額	44,855,891	58,000,278	△13,144,387
車輛運搬具	2,959,725	2,516,316	443,409	(うち当期活動増減差額)	△3,144,387	△13,773,052	10,628,665
器具及び備品	2,331,201	2,746,160	△414,959	純資産の部合計	117,835,254	122,559,872	△4,724,618
権 利	152,880	152,880	0				
退職給付引当資産	6,976,318	6,455,393	520,925				
退職給付引当資産	6,976,318	6,455,393	520,925				
人件費積立資産	10,000,000	0	10,000,000				
資産の部合計	131,077,689	133,078,831	△2,001,142	負債及び純資産の部合計	131,077,689	133,078,831	△2,001,142

スター拠点区分 資金収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	就労支援事業収入	1,100,000	1,005,789	94,211	
	就労支援事業収入	1,100,000	1,005,789	94,211	
	障害福祉サービス事業等収入	125,360,000	120,066,118	5,293,882	
	自立支援給付費収入	122,180,000	116,211,648	5,968,352	
	介護給付費収入	120,890,000	114,536,795	6,353,205	
	サービス利用計画作成費収入	1,290,000	1,674,853	△384,853	
	利用者負担金収入	2,080,000	2,532,120	△452,120	
	一割負担収入	50,000	33,900	16,100	
	給食費収入	1,990,000	2,485,100	△495,100	
	行事費収入	30,000	11,370	18,630	
	その他収入	10,000	1,750	8,250	
	その他の事業収入	1,100,000	1,322,350	△222,350	
	補助金事業収入	1,100,000	1,322,350	△222,350	
	経常経費寄附金収入	60,000	59,935	65	
	受取利息配当金収入	10,000	495	9,505	
	その他の収入	200,000	138,282	61,718	
	受入研修費収入	50,000	43,000	7,000	
	利用者等外給食費収入	70,000	81,070	△11,070	
	雑収入	80,000	14,212	65,788	
	行事	30,000	0	30,000	
	退職給与引当資産差益	0	12,212	△12,212	
	その他	50,000	2,000	48,000	
	事業活動収入計(1)		126,730,000	121,270,619	5,459,381
支出	人件費支出	89,600,000	88,933,872	666,128	
	職員給料支出	55,600,000	55,740,721	△140,721	
	給与支出	49,500,000	49,915,025	△415,025	
	諸手当支出	6,100,000	5,825,696	274,304	
	職員賞与支出	11,600,000	11,562,004	37,996	
	非常勤職員給与支出	10,500,000	9,744,347	755,653	
	退職給付支出	900,000	1,216,276	△316,276	
	退職給付支出	900,000	1,216,276	△316,276	
	法定福利費支出	11,000,000	10,670,524	329,476	
	事業費支出	10,040,000	9,998,712	41,288	
	給食費支出	3,100,000	2,920,176	179,824	
	医薬品費支出	200,000	121,023	78,977	
	保健衛生費支出	260,000	258,096	1,904	
	健康診断費支出	260,000	258,096	1,904	
	医療費支出	10,000	520	9,480	
	教養娯楽費支出	600,000	463,884	136,116	
	日用品費支出	160,000	119,935	40,065	
	水道光熱費支出	1,750,000	1,277,831	472,169	
	電気	1,000,000	790,909	209,091	
	ガス	400,000	237,636	162,364	
	水道	350,000	249,286	100,714	
	燃料費支出	50,000	23,991	26,009	
	消耗器具備品費支出	210,000	71,739	138,261	
消耗品費	10,000	0	10,000		
器具什器費	200,000	71,739	128,261		
保険料支出	100,000	240,593	△140,593		

スタ－拠点区分 資金収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
賃借料支出	700,000	1,415,360	△715,360	
車輦費支出	2,700,000	2,967,386	△267,386	
雑支出	200,000	118,178	81,822	
事務費支出	13,640,000	11,008,157	2,631,843	
福利厚生費支出	700,000	538,328	161,672	
旅費交通費支出	10,000	2,300	7,700	
研修研究費支出	600,000	444,623	155,377	
事務消耗品費支出	350,000	243,295	106,705	
消耗品費	200,000	187,351	12,649	
器具什器費	150,000	55,944	94,056	
印刷製本費支出	300,000	252,373	47,627	
水道光熱費支出	500,000	167,662	332,338	
修繕費支出	1,000,000	712,606	287,394	
通信運搬費支出	540,000	505,657	34,343	
電話	500,000	487,223	12,777	
郵便	40,000	18,434	21,566	
会議費支出	10,000	3,000	7,000	
広報費支出	70,000	48,365	21,635	
業務委託費支出	5,520,000	5,228,006	291,994	
給食費	4,800,000	4,716,870	83,130	
清掃	160,000	118,260	41,740	
嘱託医	150,000	90,476	59,524	
会計顧問料	310,000	302,400	7,600	
その他	100,000	0	100,000	
手数料支出	40,000	15,952	24,048	
振込手数料	30,000	9,688	20,312	
その他手数料	10,000	6,264	3,736	
保険料支出	650,000	536,790	113,210	
任意	500,000	419,970	80,030	
火災	150,000	116,820	33,180	
賃借料支出	1,800,000	843,946	956,054	
租税公課支出	200,000	181,269	18,731	
保守料支出	980,000	913,265	66,735	
エレベーター	120,000	114,480	5,520	
浄化槽	300,000	318,561	△18,561	
消防設備	80,000	96,120	△16,120	
電気保安	100,000	0	100,000	
コンピュータ保守	300,000	323,451	△23,451	
印刷機	70,000	60,653	9,347	
その他	10,000	0	10,000	
諸会費支出	170,000	153,580	16,420	
雑支出	200,000	217,140	△17,140	
就労支援事業支出	910,000	1,039,674	△129,674	
就労支援販売支出	410,000	290,524	119,476	
就労支援事業製造原価支出	400,000	284,499	115,501	
就労支援事業仕入支出	10,000	6,025	3,975	
就労支援販管費支出	500,000	749,150	△249,150	
支払利息支出	50,000	22,680	27,320	
事業活動支出計(2)	114,240,000	111,003,095	3,236,905	

スタ－拠点区分 資金収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位：円)

	勘 定 科 目	予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	12,490,000	10,267,524	2,222,476	
施設 整 備	収入				
	施設整備等補助金収入	750,000	750,000	0	
	施設整備等補助金収入	750,000	750,000	0	
	施設整備等収入計(4)	750,000	750,000	0	
支 出 に よ る	設備資金借入金元金償還支出	840,000	840,000	0	
	固定資産取得支出	2,400,000	2,257,078	142,922	
	車輛運搬具取得支出	1,900,000	1,826,710	73,290	
	器具及び備品取得支出	500,000	430,368	69,632	
	施設整備等支出計(5)	3,240,000	3,097,078	142,922	
収	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△2,490,000	△2,347,078	△142,922	
そ の 他 の	収入				
	積立資産取崩収入	0	354,764	△354,764	
	退職給付引当資産取崩収入	0	354,764	△354,764	
	退職給付引当資産取崩収入	0	354,764	△354,764	
	その他の活動収入計(7)	0	354,764	△354,764	
活 動 に よ る	支出				
	積立資産支出	11,000,000	10,875,689	124,311	
	退職給付引当資産支出	1,000,000	875,689	124,311	
	退職給付引当資産支出	1,000,000	875,689	124,311	
	人積件費立資産支出	10,000,000	10,000,000	0	
	拠点区分間繰入金支出	6,000,000	6,000,000	0	
収	その他の活動支出計(8)	17,000,000	16,875,689	124,311	
支	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△17,000,000	△16,520,925	△479,075	
	予備費支出(10)	0	—	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△7,000,000	△8,600,479	1,600,479	
前期末支払資金残高(12)		0	38,664,766	△38,664,766	
当期末支払資金残高(11)+(12)		△7,000,000	30,064,287	△37,064,287	

スタ一拠点区分 事業活動計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位:円)

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増 減 (A)-(B)		
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収 益	就労支援事業収益	1,005,789	1,178,756	△172,967	
		就労支援事業収益	1,005,789	1,178,756	△172,967	
		障害福祉サービス等事業収益	120,066,118	111,833,494	8,232,624	
		自立支援給付費収益	116,211,648	108,200,618	8,011,030	
		介護給付費収益	114,536,795	107,363,116	7,173,679	
		サービス利用計画作成費収益	1,674,853	837,502	837,351	
		利用者負担金収益	2,532,120	2,509,301	22,819	
		一割負担	33,900	17,175	16,725	
		給食費	2,485,100	2,484,621	479	
		行事費	11,370	7,505	3,865	
		その他	1,750	0	1,750	
		その他の事業収益	1,322,350	1,123,575	198,775	
		補助金事業収益	1,322,350	1,123,575	198,775	
		経常経費寄附金収益	59,935	54,935	5,000	
		サービス活動収益計(1)	121,131,842	113,067,185	8,064,657	
	費 用	人 件 費	人件費	92,454,797	90,769,339	1,685,458
		職員給料	55,740,721	55,143,775	596,946	
		給与	49,915,025	48,291,454	1,623,571	
		諸手当	5,825,696	6,852,321	△1,026,625	
		職員賞与	11,562,004	11,089,058	472,946	
		賞与引当金繰入	3,000,000	0	3,000,000	
		非常勤職員給与	9,744,347	12,299,041	△2,554,694	
		退職給付費用	1,737,201	1,605,318	131,883	
		退職給付費用	1,737,201	0	1,737,201	
		法定福利費	10,670,524	10,632,147	38,377	
		事業費	事業費	9,998,712	8,991,744	1,006,968
		給食費	給食費	2,920,176	2,949,898	△29,722
		医薬品費	医薬品費	121,023	131,432	△10,409
		保健衛生費	保健衛生費	258,096	234,252	23,844
		健康診断費	健康診断費	258,096	234,252	23,844
		医療費	医療費	520	0	520
		教養娯楽費	教養娯楽費	463,884	546,493	△82,609
		日用品費	日用品費	119,935	132,924	△12,989
		水道光熱費	水道光熱費	1,277,831	838,305	439,526
		電気	電気	790,909	320,043	470,866
		ガス	ガス	237,636	272,387	△34,751
		水道	水道	249,286	245,875	3,411
		燃料費	燃料費	23,991	31,016	△7,025
		消耗器具備品費	消耗器具備品費	71,739	146,660	△74,921
		消耗品費	消耗品費	0	34,276	△34,276
		器具什器費	器具什器費	71,739	112,384	△40,645
		保険料	保険料	240,593	0	240,593
		賃借料	賃借料	1,415,360	763,737	651,623
		車両費	車両費	2,967,386	3,107,155	△139,769
		雑費	雑費	118,178	109,872	8,306
		事務費	事務費	11,008,157	11,850,682	△842,525
	福利厚生費	福利厚生費	538,328	559,255	△20,927	
	旅費交通費	旅費交通費	2,300	348,556	△346,256	
	研修研究費	研修研究費	444,623	222,492	222,131	

スタ－拠点区分 事業活動計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位：円)

	勘 定 科 目	当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増 減 (A)-(B)
	事務消耗品費	243,295	193,669	49,626
	消耗品費	187,351	193,669	△6,318
	器具什器費	55,944	0	55,944
	印刷製本費	252,373	369,118	△116,745
	水道光熱費	167,662	676,365	△508,703
	修繕費	712,606	525,770	186,836
	通信運搬費	505,657	467,319	38,338
	電話	487,223	429,002	58,221
	郵便	18,434	38,317	△19,883
	会議費	3,000	0	3,000
	広報費	48,365	54,435	△6,070
	業務委託費	5,228,006	5,259,294	△31,288
	給食	4,716,870	4,673,531	43,339
	清掃	118,260	118,260	0
	嘱託医	90,476	165,103	△74,627
	会計顧問料	302,400	302,400	0
	手数料	15,952	16,440	△488
	振込手数料	9,688	10,068	△380
	その他手数料	6,264	6,372	△108
	保険料	536,790	804,426	△267,636
	任意	419,970	678,258	△258,288
	火災	116,820	126,168	△9,348
	賃借料	843,946	1,084,323	△240,377
	租税公課	181,269	133,664	47,605
	保守料	913,265	755,190	158,075
	エレベーター	114,480	114,480	0
	浄化槽	318,561	203,568	114,993
	消防設備	96,120	77,760	18,360
	電気保安	0	113,950	△113,950
	コンピュータ保守	323,451	184,779	138,672
	印刷機	60,653	60,653	0
	諸会費	153,580	140,800	12,780
	雑費	217,140	239,566	△22,426
	就労支援事業費用	1,039,674	944,796	94,878
	就労支援販売原価	290,524	198,446	92,078
	当期就労支援事業製造原価	284,499	198,446	86,053
	当期就労支援事業仕入高	6,025	0	6,025
	就労支援販管費	749,150	746,350	2,800
	減価償却費	6,221,217	6,571,063	△349,846
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△2,330,231	△2,680,503	350,272
	サービス活動費用計(2)	118,392,326	116,447,121	1,945,205
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,739,516	△3,379,936	6,119,452
サ	受取利息配当金収益	495	6,095	△5,600
ー	その他のサービス活動外収益	138,282	174,290	△36,008
ビ	受入研修費収益	43,000	0	43,000
ス	利用者等外給食収益	81,070	0	81,070
活	雑収益	14,212	174,290	△160,078
動	実習委託	0	53,000	△53,000
外	行事	0	33,540	△33,540

スタ－拠点区分 事業活動計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人 自然の森

(単位:円)

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増 減 (A)-(B)
増 減 の 部	退職給与引当資産差益	12,212	0	12,212
	その他	2,000	87,750	△85,750
	サービス活動外収益計(4)	138,777	180,385	△41,608
	費用			
	支払利息	22,680	37,800	△15,120
	その他のサービス活動外費用	0	7,320	△7,320
	雑損失	0	7,320	△7,320
	雑損失	0	7,320	△7,320
	サービス活動外費用計(5)	22,680	45,120	△22,440
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	116,097	135,265	△19,168
経常増減差額(7)=(3)+(6)		2,855,613	△3,244,671	6,100,284
特 別 増 減 の 部	収益			
	施設整備等補助金収益	750,000	0	750,000
	施設整備等補助金収益	750,000	0	750,000
	特別収益計(8)	750,000	0	750,000
	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	1	△1
	器具及び備品売却損・処分損	0	1	△1
	国庫補助金等特別積立金積立額	750,000	0	750,000
	拠点区分間繰入金費用	6,000,000	7,500,000	△1,500,000
	拠点区分間固定資産移管費用	0	3,028,380	△3,028,380
特別費用計(9)	6,750,000	10,528,381	△3,778,381	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△6,000,000	△10,528,381	4,528,381	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△3,144,387	△13,773,052	10,628,665
繰 越 活 動 増 減 差	前期繰越活動増減差額(12)	58,000,278	71,773,330	△13,773,052
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	54,855,891	58,000,278	△3,144,387
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	10,000,000	0	10,000,000
	人件費積立金積立額	10,000,000	0	10,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13+14+15)-(16)	44,855,891	58,000,278	△13,144,387

財務諸表に対する注記(スター拠点区分)

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 建物、構築物、車両運搬具、器具及び備品、権利(非減価償却資産を除く)、ソフトウェア定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

社会福祉法人岡山県社会福祉協議会の岡山県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に基づく掛金相当額を計上している。

② 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式を採用している。

(4) リース取引の会計処理

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理をしている。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

当法人で採用する退職共済制度は以下のとおりである。

独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度及び社会福祉法人岡山県社会福祉協議会の岡山県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に加入している。

4. 拠点が作成する財務諸表等とサービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表等は以下のとおりである。

(1) スター拠点財務諸表(第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式)

(2) 拠点区分資金収支明細書(会計基準別紙3)

サービス区分がないため省略している。

(3) 拠点区分事業活動明細書(会計基準別紙4)

サービス区分がないため省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	24,355,000			24,355,000
建物	33,289,457		2,170,617	31,118,840
合計	57,644,457		2,170,617	55,473,840

6. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地(基本財産)

建物(基本財産)

合計 55,473,840

担保している債務の種類及び金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)

合計 840,000

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	24,355,000	0	24,355,000
建物(基本財産)	67,912,250	36,793,410	31,118,840
土地	9,367,500	0	9,367,500
建物	29,482,500	28,303,200	1,179,300
建物付属設備	12,951,000	5,481,012	7,469,988
構築物	4,843,650	2,167,117	2,676,533
車両運搬具	19,086,970	16,127,245	2,959,725
器具及び備品	9,177,833	6,846,632	2,331,201
権利	152,880	0	152,880
合計	177,329,583	95,718,616	81,610,967

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	20,006,324	0	20,006,324
合計	20,006,324	0	20,006,324

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし